

◆第二次大戦直後の世間の注目を集めた“スパイ事件”

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイブス・アンバウンド

FBI図書館所蔵資料デジタル・アーカイブ

『アメラシア』事件：中国とマッカーシー旋風 The Amerasia Affair, China, and Postwar Anti-Communist Fervor

(Source: Federal Bureau of Investigation Library / Content: 14,164 images)

| | | | | |
|----------------|-------------------|--------------|---------------|-----------|
| FTE (学生数+教職員数) | 5,000 以下 | 5,001~15,000 | 15,001~30,000 | 30,001 以上 |
| 買い切り価格 | 価格は弊社までお問い合わせください | | | |

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です

Justice Dept. & FBI Clashed

Over Amerasia Case; Secret Hearing Bared

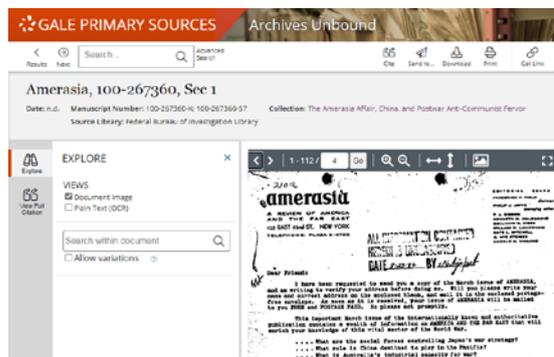


『アメラシア』事件とは、第二次大戦末期のアメリカで、政府文書を不法に流出・所持したという容疑で、アジア問題専門誌『アメラシア』の編集者やジャーナリスト、国務省の中国問題専門家、計6人が逮捕された事件で、センセーショナルな事件として世界の注目を集めました。『アメラシア』は1937年3月から1947年7月まで発行された雑誌で、日本の侵略反対、中国の抗戦支持を主張、大戦後は蒋介石国民政府の非民主的な政策を批判し、中国共産党をはじめ抗戦と中国の民主化を要求する勢力の主張を支持していました。

アメラシア事務所内には夥しい量の政府機密文書のコピーがあったといわれ、その中には陸軍省、国務省、戦略情報局、検閲局、海軍情報局のほか国家安全保障に関わる政府機関のものが含まれていたといわれます。

マッカーシズムの高まりつつある雰囲気の中で、この事件は共産主義のスパイ活動と共産主義の政府、特に国務省への影響の両方の危険性を示していると見なされていました。また、国務省の中国問題専門家ジョン・サーヴィスがこの事件に巻き込まれたことが、その後のマッカーシー旋風での国務省スタッフに対する攻撃につながられました。本コレクションでは、アメリカの中国政策をめぐる米国内の論争とも深く関わってゆく『アメラシア』事件にかかわる文書を多数収録しています。

- ◆プラットフォーム: Archives Unbound
- ◆IP アドレス接続設定・同時アクセス無制限
- ◆ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整等のビューワ機能
- ◆印刷・PDF ダウンロード可能
- ◆メール送信、書誌自動生成、ブックマーク機能
- ◆Google/Microsoft アカウントとのログイン



第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

